

## さいたま家庭裁判所委員会議事概要（第7回）

### 1 日 時

平成18年2月1日（水） 午後1時30分から午後3時31分

### 2 場 所

さいたま家庭裁判所大会議室（新館5階）

### 3 出席者（委員長を含め委員13名，説明者等8名）

委員長 小川 克 介（さいたま家庭裁判所長）

委員 伊藤 政 子（埼玉調停協会連合会長）

同 今井 理基夫（さいたま家庭裁判所家事部総括裁判官）

同 海老原 夕 美（埼玉弁護士会弁護士）

同 大倉 浩（同）

同 久保 徳 次（さいたま商工会議所事務局次長）

同 櫻井 香 子（さいたま地方検察庁検察官）

同 穴戸 基 幸（さいたま保護観察所長）

同 高野 芳 久（さいたま家庭裁判所少年部総括裁判官）

同 坂西 友 秀（埼玉大学教育学部教授）

同 細田 定 昭（埼玉県警察本部生活安全部長）

同 細田 孟（埼玉新聞社編集局長）

同 山川 玲 子（埼玉県婦人相談センターDV相談担当部長）

[ 関根和夫委員（埼玉県中央児童相談所長）及び平本一郎委員（テレビ埼玉報道制作局長）欠席，なお穴戸委員は途中で退席 ]

説明者 樋口 昇（さいたま家庭裁判所首席家庭裁判所調査官）

同 橋野 誠 介（同 家事首席書記官）

同 細井 三 郎（同 少年首席書記官）

庶務 堀田 幹（さいたま家庭裁判所事務局長）

同 橋本 健（同 事務局次長）

同 若林 大三（同 総務課長）

同 大和谷 裕 子（同 総務課課長補佐）

同 塚原 成 明（同 総務課庶務係長）

### 4 議事概要

開会宣言

委員長挨拶

新任委員自己紹介（細田定昭委員及び細田孟委員からの挨拶）

家事事件に関するテーマの協議

ア 家事調停について（アンケート結果を踏まえて）

アンケート集計結果については、概ね合格点といえるものであったが、細かいところを見ると、数としては少ないもののあまりよいとはいえない評価を受けたと見られる回答もなくてはなかったことを重く受け止めて、反省材料にしていきたいという報告があった。また、調停委員としても、国民からどう評価されているのかを知る機会はありませんので、この結果を材料とし、分析を加えて、研修その他の機会に活用していきたい旨の発言があった。さらに、よりよい調停の方向性を検討するための方法について、意見交換がなされた。

#### イ 人事訴訟について

家庭裁判所から、人事訴訟の制度の概要と現状についての説明があった。特に、平成16年4月に人事訴訟が地方裁判所から家庭裁判所に移管されたことに伴い変更された点についての説明があった。

家裁に移管されたことにより、審理がより丁寧に行われるようになった印象を受けるといった意見や、丁寧に審理することにより時間がかかることになったとしても、当事者としては文句はないといった意見や、弁護士をつけず本人訴訟となる割合が多くなっているように感じられるといった意見もあった。本人訴訟が増えることにより、家裁に負担がかかっているのではないかという指摘や、今後の年金制度の変更に伴い事件の増加が予想されることへの懸念も示された。

家庭裁判所は身近な裁判所であり、重要性もますます増加していくこと、さらにこれからの家庭裁判所がどうあるべきかを議論することは有意義であり、これからの社会がどうなっていくのかという動きを見通していくことができるような家裁委員会にしたいという意見があった。

次回のテーマについて

事務局から委員に意見を募ることになった。

事務局長による次回の日程調整

委員長による閉会宣言

### 5 次回日程等

日 時 平成18年5月31日(水) 午後1時30分から(2時間程度)

場 所 さいたま家庭裁判所大会議室(新館5階)